

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：平成31年3月20日

事業所名 クラスルームという

保護者等数（児童数）46世帯（47名）※平成30年12月1日現在 回収枚数33世帯 割合71%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	1	0	1		法令を遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	4	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 誰がなんの資格があるのか知らない。 先生方の人数は少ないように感じます。あと1人でも増えるとだいぶ違うと思います。現在グループでのセッションで全員参加だと6名、3名の先生では少なくぜひ増やしてほしいです。 職員がどのような資格をもっているのか年に1回は知らせるべきだと思う。 もう少し職員の配置数を増やしてほしい。 	職員の資格について、周知不足であったことは誠に申し訳ありません。今後、事務室に掲示している顔写真横に資格情報等を追加するようにしたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 次の活動に移る際、最初は物から始まり写真に変わるといふ子供の発達状況に合わせて対応されているので、わかりやすく、不安もなくよい環境です。 まだ1対1で、リュックを置く棚とか、自分で何とかするという感じじゃないから、1対1の時もここはリュックを置くところとか作っていいんじゃないかなと思います。 	集団療育スペースは、バリアフリー化しており、子どもたちが活動する指導訓練室は集まりの会を実施する場所、勉強をする場所、おやつを食べる場所、遊ぶ場所などを構造化し、視覚的にも認識できるようにしています。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	1	0	0	・おやつ時に使うお皿やコップなどの衛生面が少し気になります。紙皿・紙コップを使っていただくなど検討をお願いします。	療育スペースは、使用后必ず清掃活動を行っており、衛生面に配慮しています。紙皿・紙コップの使用につきましては、前向きに検討させていただきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	28	3	0	2		計画作成前に面接や、発達検査を行い、お子さんの特性や発達状況、ニーズ把握に努めております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	4	0	2		児童発達支援計画には、発達支援、家族支援、地域支援に係る項目を入れており、利用者に必要な総合的な支援内容を設定するよう配慮しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	2	0	3		支援内容などを確認し、児童発達支援計画に沿った支援が行われるよう心掛けています。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	26	4	0	3	・あまり変化にとんでいるとは言えないと思います。	季節に合った遊びや、同じ活動でも個々の発達に合わせて内容を変えています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2	17	8	・交流する機会をつくってもらえるならつくってほしい。 ・保育所などに通い、子供の変化・成長が事業所と園で情報を共有して頂けると親として安心です。 ・2週間に1回なので、そのような機会はありませんが、納得しています。 ・機会はないが、特に求めてもない。 ・普通の保育園に行っているため、特に必要性は感じません。	療育時間が限られており、申し訳ありませんが現状で新たな機会の提供は考えておりません。

10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	3	0	2		利用契約時にご説明させていただいておりますが、不足・不明な点がございましたらお気軽にいつでもお尋ねください。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	24	2	2	5		計画期間ごとに個別支援計画書を示し、説明を行っています。ご不明な点等ありましたら、ご相談ください。
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	24	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・12月頃、保護者向けのプログラム（3回）があったが月曜午前中ということで、仕事をしている者にとって休みを取りづらい日程であったため、講師の都合がつけば他の曜日では是非お願いしたいです。 	平成30年度は、外部講師をお招きし保護者向け勉強会を2回と、テーマ別研修会を3回実施しました。日程については、ご不便をおかけして申し訳ありません。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の記録でその日どのような活動をしたか教えて頂けてとてもありがたいです。先生方に感謝です。 	
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり話せる面談とかを定期的にやってほしい。 ・面談は定期的に有り。助言はその都度、機会があればできるという感じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を実施しておりますが、お困りの際はお気軽にお声掛けください。

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	9	5	8	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携が少ない気がします。 ・勉強会などで親が知る機会があるのはとてもいいと思います。 ・勉強会やペアトレを通じて、交流する機会やきっかけは作ってもらっている。 ・セッションの様子をマジックミラー越しに拝見できるので、保護者同士の悩み等が話せて、いやしの場となっております。 ・特に必要性は感じません。 	平成30年度は、テーマ別研修会として、夏休みを利用して兄弟姉妹児を対象とした勉強会を行いました。今後も少しでも多くの勉強会等開催できればと考えております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	10	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・申し入れなどをしたことがないからわからない。 	お気づきになられた事などありましたら、遠慮なくお声掛けください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・もうちょっとわかりやすい読みやすい文字で書いてほしい。 	分かりやすい情報共有・サービス提供に努めます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	6	3	8	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回程度知能検査等を受けるが、費用負担をしているので書面で結果を通知して欲しい。 ・個別に毎週、全体には月一お便りでされている。 ・業務全体の取組だったり先々の進路においての情報を、不定期でも会報などで知っておきたい気持ちはあります。 	ホームページは随時更新していきます。今年度から自己評価の結果をホームページ上で公表します。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	28	1	0	4		事業所で管理する個人情報については厳重に管理し、職員に対しても個人情報の適正な取扱いを周知徹底しています。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	5	7	15	・まったく知らないので教えてほしい。	保護者の方への周知が不十分でした。 事業所では、「防災計画」や「感染症対応マニュアル」を策定しております。まずは、事務室に閲覧用ファイルを置き、周知に努めたいと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	5	11	16	・してほしい。	年2回保健福祉会館で行われる避難訓練に、職員が参加しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	31	1	1	0	・別の日にも行きたいと言う位楽しみにしています。 ・毎週のといろをととても楽しみにしています。グループでの活動ということで、社会性や人間関係を学べるとてもよい機会だと思います。 ・子どもたちが興味・関心持てるような工夫がされていると思います。	
	23	事業所の支援に満足しているか	29	3	0	0	大変満足しています。放課後デイサービスもほしいです。	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。